

都市再生整備計画 事後評価シート  
黒部西部地区

平成26年12月

富山県黒部市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	富山県		市町村名	黒部市		地区名	黒部西部地区			面積	1,617ha		
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	2,430百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(都市計画道路;前沢植木線、市道;石田8号線、大町1号線、堀切石田線、石田23号線、石田駅立野線、犬山3号線、三日月出島線、金屋1号線、金屋柘沢線、古御堂2号線、中新堀高線、下磯1号線、生地7号線、生地25号線、生地中新線、地下道冠水対策、道路消雪施設)、地域生活基盤施設(住民避難施設(地域防災施設))、高質空間形成施設(駅トイレ(東三日月市駅、電鉄黒部駅))、土地区画整理事業(三日月市保育所周辺)										
		提案事業	地域創造支援事業(背戸川環境整備、交通安全設備整備、アクアパーク整備)、事業活用調査(事業効果分析等)、まちづくり活動推進事業(公共交通再生・活性化支援、路線バス運行社会実験)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名 道路(前沢三日月市線、古御堂4号線、堀切飛驒線、吉田線)			削除/追加の理由 事業内容の精査により、事業効果が低いと判断した。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 地区内での交通事故の発生件数に關係するが、数値目標は据え置く。				
		提案事業	地域創造支援事業(バス停整備)			事業内容の精査により、事業効果が低いと判断した。			路線バス生地線の乗車数に關係するが、数値目標は据え置く。				
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(田家6号線)、公園(黒部市総合公園)、地域生活基盤施設(植木ポケットパーク整備、地域交流広場整備、JR生地駅前駐輪場グレードアップ、コラーレ駐車場整備)、高次都市施設(地域交流施設)			道路整備のため、地域住民の憩いの場整備のため、公園利用者駐車場整備のため、市民の交流広場や協働スペース整備のために追加する。			地区内での交通事故の発生件数、路線バス生地線の乗車数、地区の人口に關係するが、いずれも数値目標は据え置く。				
		提案事業	地域創造支援事業(土地区画整理事業(市単独分)、地域交流施設整備、三日月市幼稚園解体)			冠水防止の排水路設置のため、中心部における交流施設整備のため、交流施設を建設するのに幼稚園の解体が必要なために追加する。			地区内の交通事故の発生件数、地区の人口、路線バス生地線の乗車数に關係するが、いずれも数値目標は据え置く。				
交付期間の変更	当初	なし		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	地区人口の変化率	%	-0.3	H20	-0.3	H26	モニタリング	評価値	△	あり	目標達成は困難な状況にあると思われるが、本目標設定時における将来推計では、何も施策を講じなかった場合の変化率は-3.1%とされていたのに対して、実績は-1.5%の見込みであること、また、依然、減少傾向にあるものの、平成23年から24年にかけては一旦増加に転じるなど、減少幅が縮小してきていることが伺える。全国的に人口減少傾向が進展する中で、今後、本指標に關連する区画整理事業を中心とした事業の推進により、中長期的には、人口減少が抑制されていく可能性が期待できる。	平成27年5月末
										なし	●		
	指標2	地区内での事故発生率	%	47.7	H20	47.7以下	H26		45.8	○	あり	道路拡幅や歩道設置の道路改良事業、交通安全設備整備事業等により、地区内の道路の安全性は高まり、交通事故発生抑制に効果があった。	平成27年5月末
指標3	路線バス生地線の年間乗車数	人	41,848	H20	45,000	H26		47,000	○	あり	路線バス生地線は、H23.10から、鉄道との連絡や市街地内の循環等の利便性を高めた生地三日月市循環線に切り替わり、H26.5末現在、黒部駅と生地駅の各方面12便/日が運行されている。この路線バス運行社会実験により、運行ルート・ダイヤの見直しが見られ、地域の公共交通の利便性が高まったことで、バス利用者の増加に効果があった。	平成27年5月末	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災施設(耐震性防火水槽、防災倉庫)の整備により、地区の防災機能の向上が図られた。</li> <li>・土地区画整理事業や(都)前沢植木線の進捗、また地域交流施設整備により、地区イメージが向上した。</li> </ul>												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等			
	モニタリング	なし			<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画に記載し、実施できた</li> <li>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</li> <li>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</li> </ul>						-		
	住民参加プロセス	公共交通ふれあいイベント(提案事業)(「黒部市民鉄道年」実行委員会によるイベント)			<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画に記載し、実施できた</li> <li>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</li> <li>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul> 今後も計画的な実施(支援)を図る。		
持続的なまちづくり体制の構築	NPO法人黒部まちづくり協議会による「やってみっか市」くろべ納涼楽市実行委員会による「くろべ納涼楽市」黒部観光ガイドによる観光案内やイベント等			<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画に記載し、実施できた</li> <li>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</li> <li>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>●</li> </ul> 今後も地域住民をはじめ、関係団体やボランティア等と連携しながら、継続的に実施していく。後継者育成を図りやすい組織体制づくり、自主事業・財源の確保に向けた取り組みを推進していく。			

## 様式2-2 地区の概要

黒部西部地区(富山県黒部市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 大自然のシンフォニー文化・交流のまちづくりの推進		地区人口の変化率	単位: %	-0.3	H20	-0.3	H26	-1.5	H26
目標1: 定住を促す居住環境の整備		地区内での事故発生率	単位: %	47.7	H20	47.7以下	H26	45.8	H26
目標2: 人にやさしい道路環境の整備		路線バス生地線の年間乗車数	単位: 人	41,848	H20	45,000	H26	47,000	H26
目標3: 交流が生まれる都市環境の形成									
<p><b>まちの課題の変化</b></p> <p>[住宅密集地における、地震・火災に対する防災性の向上]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三日市地区においては、土地区画整理事業の推進により(進捗率55.3%)、密集市街地の解消が進み、併せて、防災施設の整備により、地域の防災機能の向上が図られつつある。</li> <li>・土地区画整理事業の推進と併せて、区画整理事業区域外の密集市街地における、狭隘道路の改善など、防災機能の向上に向けた取り組みが引き続き必要である。また、基盤整備による安全でゆとりある居住環境の形成を、定住人口の維持・増加に結びつけていくことが重要であり、住み続けたいまちを目指し、地域の魅力を高めていく必要がある。</li> </ul> <p>[地域における日常的な賑わいの創出]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三日市地区では、地域住民やNPO等による定期的なイベント開催による賑わいの回復が図られている。また、生地地区では、観光ボランティアの活動により、観光客との交流が活発に行われている。</li> <li>・路線バス生地線の運行見直しにより利便性が向上したことで、バス利用者は増加し、地域住民の往來の活性化に結びついている。</li> <li>・市民が気軽に利用できる地域交流施設・広場の整備により、市中心部における市内外の交流機能を高め、日常的な賑わいの創出に結びつけていく必要がある。交流施設・広場の整備効果を発揮していく取り組みが重要である。</li> </ul> <p>[地区内の通過交通量の増加に対する交通の安全性の向上]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良や交通安全設備の整備等により、地区内の交通の安全性は高まり、交通事故の抑制に効果があった。</li> <li>・安全で快適な道路空間の形成に向けた取り組みが引き続き必要である。</li> </ul>		<p><b>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</b></p> <p>[効果を持続させるために行う方策]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①都市基盤の継続整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、土地区画整理事業、道路改良等の都市基盤の整備を推進し、市の中心部における都市機能の集積、良好な居住環境の形成、安全性の高い道路環境の形成を図る。</li> </ul> </li> <li>②賑わい創出事業の促進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、地域主体の賑わいイベントの維持・拡大に向けた取り組みを促進する。</li> </ul> </li> <li>③地域公共交通の利便性の維持・向上             <ul style="list-style-type: none"> <li>・三日市と生地間の連絡に加えて、新幹線駅との連絡も考慮した、利便性の高いバス網の構築を図る。</li> </ul> </li> </ol> <p>[改善策]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①定住環境の向上             <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業及び密集市街地の改善整備等の推進により、誰もが安全・安心に暮らせる居住環境の形成を図る。</li> <li>・地域の水辺や緑地等の資源を活用した、潤いや憩いの感じられる居住環境の形成に努め、まちの魅力を高める。</li> </ul> </li> <li>②日常的な賑わいの創出             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流施設・広場の有効活用を図り、地域や関係団体、NPO等との連携に基づく、幅広い世代の住民の交流を促進する。</li> <li>・地区内の交流の増加に向けて、公共交通機関の利用環境を整備する。</li> </ul> </li> </ol>							